

会報

きのこ・ながさき



(シイトモンビタケ)

23

令和5年3月
長崎きのこ会

会長挨拶

長崎きのこ会 会長 山川 統

今年も月1回のペースで定例観察会を行いました。3月上旬に計画されたシイタケ駒打ち作業(長崎県民の森主催事業)が新型コロナで中止になったため、長崎きのこ会総会およびスライド学習会を3月下旬に延期しました。終了後、帆場岳麓(長崎市)でトガリアミガサタケを観察しました。昨年より、発生数が少なかったです。

昨年、会員が長崎市で撮ったきのこがシイトモシビタケに似ていたので、今年も発生したら、発光を確認しようと探し、探索3回目の6月7日に見つけ、発光を確認しました。そこで、NCC長崎文化放送(TV局)の取材を兼ねて、会員とともに再探索すると、さらに多くの発生木を見つけました。その様子が7月下旬に放送されました。発見から11日後、シイトモシビタケが発生しているスダジイの朽木から白いきのこが多量に発生していました。外観はシイトモシビタケに似ていたので発光するか確認すると、発光しました。シイトモシビタケのアルビノかは、DNA解析しないとわからないので、今年も発生したら確認しようと思います。99%以上同じであればアルビノ、違えば別種ということになるのでとても楽しみです。また、スダジイ森は県内各地にあるので、時間をかけて探せば、シイトモシビタケの発生場所が増えるのではないかと思います。新型コロナ感染予防に気をつけながら、新たなきのこの出会いだけでなく、参加者との交流を楽しめた1年になりました。

定例観察会で観察した代表的なきのことして、トガリアミガサタケ(3月、帆場岳麓)、ヌメリツバタケ(4月、狸ノ尾ため池水源の森)、ヒメワカフサタケ?(5月、長崎県民の森)、タマゴタケ(6月、長崎県民の森)、カバイロコナテングタケ(7月、上山公園)、サンコタケ(8月、白雲の池)、コウボウフデ、ウスキキヌガサタケ(9月、長崎県民の森)、アオネノヤマイグチ、アカモミタケ、フェムスジョウタケ、アオノキノコヤドリタケ?(10月、修多羅の森)がありました。

佐賀きのこ会と合同で開催する予定だった西日本きのこ交流会は延期されましたが、令和5年には実施できればいいなと思います。

本会はきのこを探し、写真を撮り、時には食べて楽しむだけでなく、きのこを通して自然とふれ合い、仲間との交流を深めることに重きを置いています。そして、地域社会へ貢献することを願っています。

この冊子は令和4年の長崎きのこ会の活動を中心にまとめました。皆様のお役に立つことができれば幸いです。

目 次

令和4年 長崎きのこ会活動結果	2
定例観察会(第1~10回)	
【会員の広場】	
長崎きのこ会 発足のころ	森永鉄美、佐藤 仁 25
タマゴタケに魅せられて	原口俊彦 26
九州一周の一人旅に挑戦	大江幸子
2022年に出会ったきのこたち	山川 統 27
長崎のきのこ写真展	32
長崎ブリックホール、長崎県民の森「森林館」	
令和5年 きのこ観察計画	33
長崎きのこ会役員	
友好きのこ会の会報・機関誌等	34
長崎きのこ会会則	
きのこの賑わい	36